

平成26年度 事業報告

公益目的事業

I. 環境整備等助成事業 (27,851,904 円)

1 顕彰事業

長年にわたる修養により伝統伎芸の保存継承や発展に功績があり、伎芸の向上に努めている60歳以上の芸妓を「伝統伎芸保持者」として認定した。(審査委員会で審査)

平成26年度伝統伎芸保持者 2名

歌舞会	芸名	氏名	芸歴
祇園甲部	まめちよ 豆千代	かわにし えつこ 河西 悦子	53年
	なかこ 奈加子	ひらぐち のりこ 平口 典子	51年

認定式：平成27年6月2日 於：ウエスティン都ホテル京都

※平成8年から実施。平成25年度までの保持者数48名。

2 伎芸奨励事業

(1) 伎芸奨励事業

伝統伎芸従事者の更なる活動と後継者の育成を奨励するため、65歳以上の経験豊かな芸妓に対し、伎芸に必要な道具の購入、伎芸取得のための自己研鑽や研修等のための伎芸奨励金を支給した。(審査委員会で審査)

奨励者数：65歳以上9名、70歳以上23名、80歳以上11名 合計43名

奨励金： 〃 7万円、 〃 8万円、 〃 10万円

(2) 芸妓支援事業

伝統伎芸を保存継承し後継者育成に資するため、若手の芸妓の支援策として、独立してから5年未満の芸妓や独立する3ヶ月前の芸妓に対し、伎芸に用いる衣裳や帯などの新調に際しての補助を行った。(審査委員会で審査)

助成一覧（助成金合計額：6,667,439 円）

歌舞会名	人数
祇園甲部	5名
宮川町	4名
先斗町	2名
上七軒	2名
祇園東	1名
合計	14名

3 伎芸研修等助成

伝統伎芸の保存継承を図るため、各歌舞会の学校や財団が行う研修事業、楽器の新調・補修に対して各歌舞会に助成を行った。（審査委員会で審査）

助成実績：三味線購入・補修、太鼓・小鼓等購入等の助成

4 舞台発表会助成

各歌舞会の秋のをどりの会等に対して助成を行い、伝統伎芸の向上を図った。（審査委員会で審査）

5 伝統行事参加助成

祇園祭花傘巡行、時代祭など京都の代表的な伝統行事への参加に対して各花街に助成を行った。（審査委員会で審査）

参加行事：祇園祭花傘巡行、時代祭、八坂神社奉納祭、献茶会等

6 研修事業

芸妓舞妓の資質の向上を図り、教養を身につけるため、京都の歴史、文化等についての研修会を実施した。京菓子の老舗「俵屋吉富」での和菓子作りの体験や京菓子資料館の見学、琳派誕生 400 年に因み本阿弥光悦の菩提寺である本法寺を訪問し、絵画や庭園の見学を通じて日本文化の知識を深めた。

実施日 平成 27 年 1 月 27 日（火）

訪問箇所 俵屋吉富、しょうざん(昼食)、本法寺

参加者 89 名（芸妓 23 名 舞妓 27 名、仕込み 13 名、その他 26 名）

7 環境整備事業

花街の文化や伝統伎芸、花街の環境を保存・継承していくため、伎芸の発表のみならず、日頃の研鑽の場である歌舞練場などの改築・改修に対して助成を行った。(審査委員会で審査)

助成一覧 (助成金合計額：10,276,656 円)

歌舞会名	修復箇所等
宮川町歌舞会	・歌舞練場内の電気室の機器及び配線の更新工事等
先斗町歌舞会	・歌舞練場の男子トイレ (2階・3階) の改修工事 ・歌舞練場 2 階廊下の壁の補修
上七軒歌舞会	・検番棟の屋根瓦の損傷部分の修復 ・歌舞練場棟 2 階の屋根(一部)の板金の修復 ・歌舞練場棟楽屋の電盤及び幹線配線改修工事
祇園東歌舞会	・お稽古場及び検番のトイレの改修工事

【審査委員会】

開催日：5月14日(水)・12月10日(水)

審査委員：理事 渡邊 隆夫

評議員 佐竹 力総

外部委員 大野木 啓人 (京都造形大学 副学長)

外部委員 甲津 功夫 (大阪大学名誉教授)

外部委員 鈴木 哲法 (京都新聞社編集局次長兼文化報道部長兼論説委員)

永澄 憲史 (京都新聞社編集局文化部長 生活学芸担当部長 論説委員)

8 祇園小唄祭事業

昭和の名曲で五花街にゆかりのある『祇園小唄』に感謝するため「祇園小唄祭」を実施した。

実施日 平成 26 年 11 月 23 日 (日・祝)

会場 円山公園 祇園小唄石碑前

参加者 財団・花街関係者 7 名、舞妓 2 名、観覧客約 200 名

II. 五花街合同公演事業

五花街の芸舞妓の日頃の研鑽の発表の場として各歌舞会の舞踊と舞妓が一堂に会して同演目を披露する合同公演「第2回 都の賑い」を開催し、全国の花街ファンを始め、多くの人々に京都の伝統伎芸を広く紹介し、愛好者の拡大に努めた。

実施日 6月28日(土)・29日(日)
 場 所 南座
 出演者 合計76名(芸妓56名、舞妓20名)
 観客数 4,004名

III. ギオンコーナー事業(対象 外国人・修学旅行生)

京都の伝統文化である京舞・茶道・華道・琴・雅楽・狂言などを気軽に鑑賞出来る施設としてギオンコーナーを運営した。

従来にも増して日本の伝統文化を発信していくため、期間限定割引の実施や割引券の配布、ホームページによる広報を通じて、外国人観光客や修学旅行生の誘致に努めた。

【入場者数】

	合 計	外国人	修学旅行生	日本人(修学旅行生除く)
平成26年度	64,221名※財団設立以来、最高を記録。 (前年比20%増)	39,018名 (26%増)	55校 3,367名 (12%減)	21,836名 (19%増)
平成25年度	53,217名	31,014名	58校 3,824名	18,379名

(1) プログラムの配布

日本語をはじめ、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、ロシア語、簡体字、繁体字、韓国語の11ヶ国語のプログラムを入場者に配布した。

日本語	英語	簡体字	スペイン語	フランス語	繁体字
25,203名 (39.2%)	19,632名 (30.6%)	6,301名 (9.8%)	3,473名 (5.4%)	3,153名 (4.9%)	1,684名 (2.6%)
イタリア語	ロシア語	ドイツ語	ポルトガル語	韓国語	合計
1,461名 (2.3%)	1,132名 (1.8%)	1,053名 (1.6%)	733名 (1.1%)	396名 (0.6%)	64,221名

(2) インターネットなどによる広報

日本語をはじめ、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、ロシア語、簡体字、繁体字、韓国語対応のホームページで広報に努めた。

(3) 修学旅行の誘致

リーフレットを全国の旅行会社や各都道府県及び市町村教育委員会に送り、修学旅行の更なる誘致に努めた。

配布箇所 旅行会社 約 750 箇所、教育委員会約 1,800 箇所

(4) 外国人観光客の誘致

観光案内施設や京都市内のホテル、旅館、お土産店等に入場割引券や期間限定の割引券を配布し、さらなる来場者の誘致を図った。

配布先：観光施設約 10 箇所、ホテル約 50 箇所、旅館約 150 箇所、お土産店・飲食店等約 50 箇所

【入場割引券】

料 金：大人 3,150 円→2,800 円

配布枚数：30 万枚

来場者人数：7,397 名（11.5%）※日本人利用者含む

【期間限定割引券】

料 金：大人 3,150 円→2,500 円

配布枚数：15 万枚

来場者人数：19,981 名（31.1%）

IV. 受託事業等（派遣事業）

行政や関係団体からの依頼に基づき芸妓舞妓の派遣を行い、イベントの会場や海外からの賓客等に対して伝統伎芸を通じて日本文化を発信した。（21 件）

主な派遣事業

- ・迎賓館でのモロッコ王国参議院議長及びエチオピア連邦民主共和国人民代表議会議長のレセプション（9 月 11 日・10 月 26 日）
- ・京料理展示大会における舞の披露（12 月 13 日・14 日）
- ・東山花灯路における舞の披露（3 月 7・8・13・14・15 日） 他

V. 財団創立 20 周年記念事業

平成 28 年の財団創立 20 周年記念事業の実施に向け、式典等の準備やロームシアター京都の柿落とし事業と兼ねて行う記念公演に招請する東京新橋、金沢三茶屋街、博多券番の演目等について調整を行った。

(1) 式典・レセプション

とき：平成 28 年 1 月 15 日（金）

会場：ウェスティン都ホテル京都

(2) 記念誌

財団創立以来の20年間の歩みや、記念公演の演目や出演者等を掲載した記念誌の発行に向けて準備を行った。

(3) 記念公演「八花絢爛 ^{はっかけんらん} ～芸を競う、八花街の名妓たち～」

と き：平成28年1月16日（土）・17日（日）

会 場：ロームシアター京都

演 目：東京新橋 吹寄せ(予定)

金沢三茶屋街 お座敷太鼓

博多券番 博多座敷唄

出演花街：祇園甲部、宮川町、先斗町、上七軒、祇園東、
東京新橋、金沢東・西・主計町、博多券番

実施主体：(公財)京都伝統伎芸振興財団、花街組合連合会、
京都市、(公財)京都市音楽芸術文化振興財団

VI. 広 報 事 業

(1) ホームページやツイッターを通じての情報発信

ホームページやツイッターを通じて事業の告知や花街の行事についての情報発信やギオンコーナーのPR、団体の受け付けを行った。

【ビュー件数】(平成26年4月1日～27年3月31日)

パソコン 226,219件

携帯電話 226,117件

*いずれも1ヶ月平均 約18,800件 1日平均約620件

【Twitter】(平成27年3月末現在)

フォロワー数 7,929名

【ギオンコーナーYouTube】

再生回数 1年間6,055回(平成26年4月1日～27年3月31日)

のべ19,925回(平成27年3月末現在)

【団体受付】 118件

(2) 五花街の「をどりの会」の啓発

五花街の各歌舞会が実施する春秋のをどりの会について、友の会会報誌への掲載やギオンコーナーのエントランスでのポスターの掲示、パンフレットの配布等を行うとともに、私鉄や金融機関などの協力を得てPRに積極的に取り組んだ。

(3) ギオンコーナーエントランスショーケースでの情報発信

ギオンコーナーの入口の壁面を利用し「舞妓ギャラリー」の名称で、五花街の情報発信や舞妓の髪型、花簪、装身具や持ち物等を展示した。

また、大型モニターで五花街合同公演や京都の伝統行事、花街の文化を発信した。

(4) 広報等充実事業

花街のファンの裾野の拡大や、五花街の春秋の「をどり」の会の参加者の更なる誘致を図るため、花街に賑いを持たせることを目的とした街づくりイベント等の実施やホームページの充実、「をどりの会」の啓発に対し支援を行い、伝統伎芸や花街文化の保存継承、活性化に繋げた。(審査委員会で審査)

助成一覧(助成金合計額:1,231,900円)

歌舞会名	内 容
宮川町歌舞会	・みずゑ会の演目にちなんだ版画展の実施 ・旅行雑誌(朝日新聞出版)「秋の京都2014」における広報 等
上七軒歌舞会	・足元燈50基の作成

VII. その他

京都の伝統伎芸を発信するとともに後継者である舞妓希望者の拡大に繋げるため、祇園甲部の舞妓 亜矢子が舞妓姿で成人式に参加し、地方の生演奏のもと舞を披露することに対し支援を行った。

日時:平成27年1月11日(日)

会場:長野県上田市 上田が丘公民館

収 益 事 業

I. ギオンコーナー事業(対象 一般観光客)

再掲(公益目的事業に記載)

II. 五花街の夕べ事業

五花街合同公演の後、有名料亭や旅館、ホテルに席を移し、料理を賞味しながら芸舞妓の舞いなどを楽しんで頂く「五花街の夕べ」を開催した。

実施日 6月28日(土)・29日(日)

会 場 28日(土) 瓢亭・菊乃井・岡崎つる家・柊家・炭屋
29日(日) ホテルグランヴィア京都

出演者 芸妓12名、舞妓20名、合計32名

参加者 316名

III. 物 販

ギオンコーナーの売店で、五花街を紹介した書籍や京扇子、うちわなど京都ならではの伝統工芸品の販売や、五花街合同公演の演目や出演の芸舞妓を掲載したプログラムを販売した。

IV. 友の会事業

財団の活動を支援し、伝統伎芸の愛好者の裾野の拡大を目的に友の会活動を運営した。春秋恒例の各花街のをどりの会や合同公演の招待、芸舞妓写真撮影会、友の会の集い「おおきにパーティー」の開催や希望者へのお茶屋の紹介・舞妓派遣等を行った。

また会報誌“はんなり”を発行し、会員をはじめ五花街の各組合や関係機関に配布をし、情報提供を行った。

友の会会員数 390名（平成27年3月末現在）

(1) 芸舞妓写真撮影会

実施日 平成26年10月14日（月・祝）

会場 南禅寺「順正」

参加者 58名

出演者 合計3名（芸妓1名、舞妓2名）

(2) おおきにパーティーの開催

実施日 平成26年11月23日（日・祝）

会場 ANAクラウンプラザホテル京都

参加者 254名

出演者 合計22名（芸妓6名、舞妓16名）

(3) はんなりの発行

VOL.25（平成26年秋号）、VOL.26（平成27年春号）

(4) お茶屋遊びの紹介・芸妓舞妓派遣

お茶屋の紹介（54件）

芸妓舞妓派遣等（8件）

・富裕層向け旅行会社のツアーでの舞の披露と接遇（4月2日）

・結婚披露宴での舞の披露と接遇（11月30日・1月11日・1月31日） 他

その他事業

I. 後継者募集

伝統伎芸の後継者である舞妓の募集を行うためホームページで告知し、希望者に対しては資料の配布や説明を行い、応募者を各歌舞会に紹介した。（紹介件数：3件）